

# 我絶望ス 故ニ我在リ

クレセツボウス ユエニクレアリ



成人向

絶倫  
18041

ベカラス 未成年立ち入り



我絶望ス、故ニ我在シ

sayonarazetsubousensei fanbook

ベカラス 未成年立ち入り

ベカラス 未成年立ち入り

ベカラス 未成年立ち入り

ベカラス 未成年立ち入り

成人向けの本に登場する人物が  
全員十八歳以下なわけが  
ないじゃないですか！



私たち  
何年も留年してますし！



んっ  
わたくしと結婚するのは  
お厭なのですか??  
目を合わせて  
ください……ふあっ

ッ



あっ  
はあッ♡

お兄さまッ  
倫のなかは  
気持ち良いですか?

こんなことっ  
すぐに止め



それをこんな

出来るわけ  
無いだろっ! 倫  
そもそも俺たちは  
兄妹じゃないか!



兄妹であれ、見合いの儀に  
例外はありませんのよ?

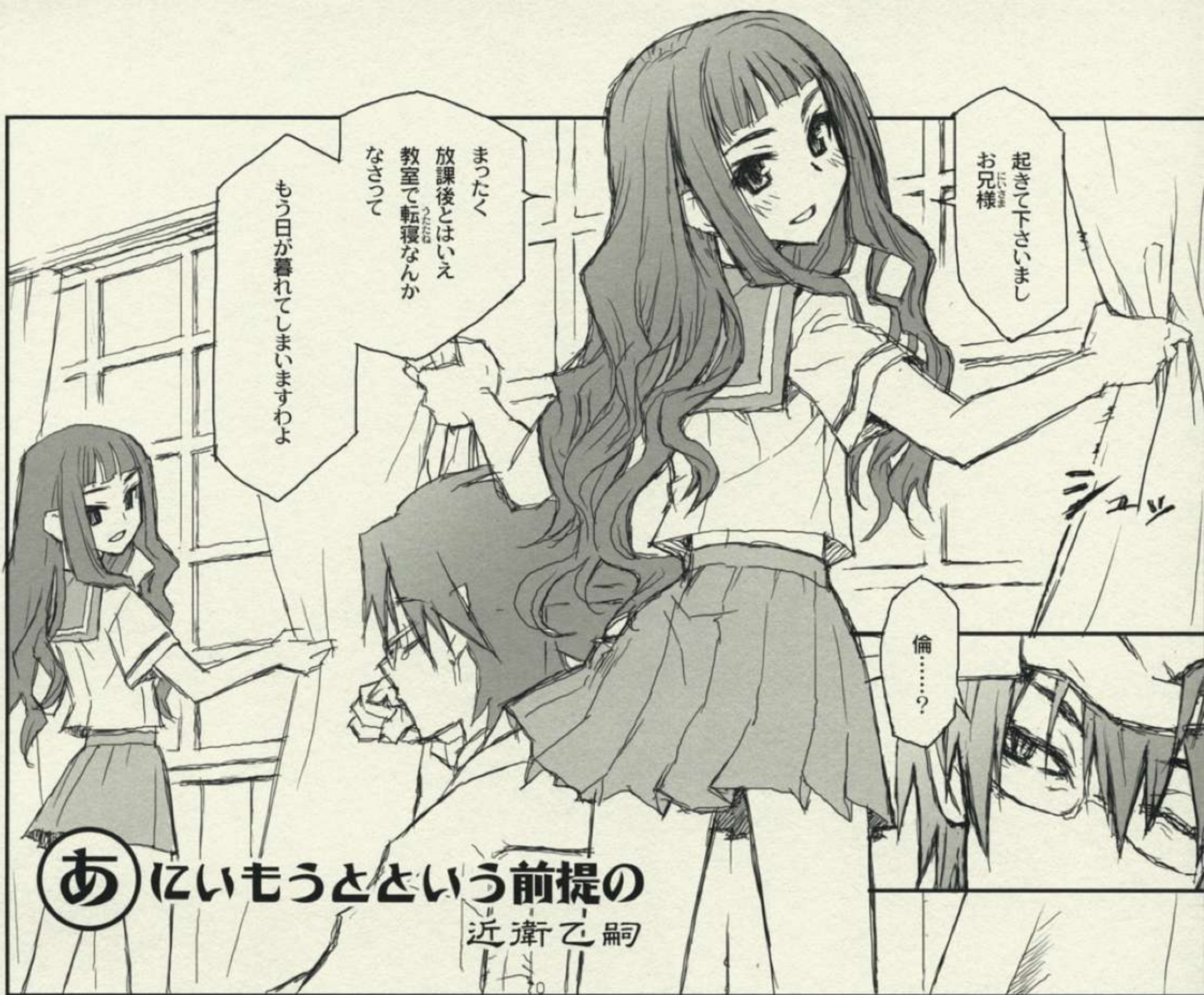
んっ♡



もう止め……  
出るッ

様

お兄様



起きて下さいまし  
お兄様

まったく  
放課後とはいえ  
教室で転寝なんか  
なさつて

もう日が暮れてしまいますわよ

倫……？

あにいもうとという前提の  
近衛乙嗣



この間はぐらかされて  
しまいましたか

あの時のこと  
もう許しては  
頂けませんか？



ねえ、お兄様？

な、なんですか

ええ、あの時の夢ですよ

それで、お答えは？

そう簡単には許しませんよ

まあ、薄汚い雌犬の様に誘ってみせてもしたり考えても良いですが

どうせこんなところでできやしないでしょうからね

……夢を見ていました

オマエの夢を

まあ、私の夢を？

どうせのすくみ状態で誰にも手を出せず滾る欲求を持って余していらつしゃったのでしょ？

お父様が示談の為にどれだけ実弾おまねを使ったか

お兄様昔から「やんちゃ」でしたものね



どうです？  
この雌犬を思う様  
犯したいのではなくて？

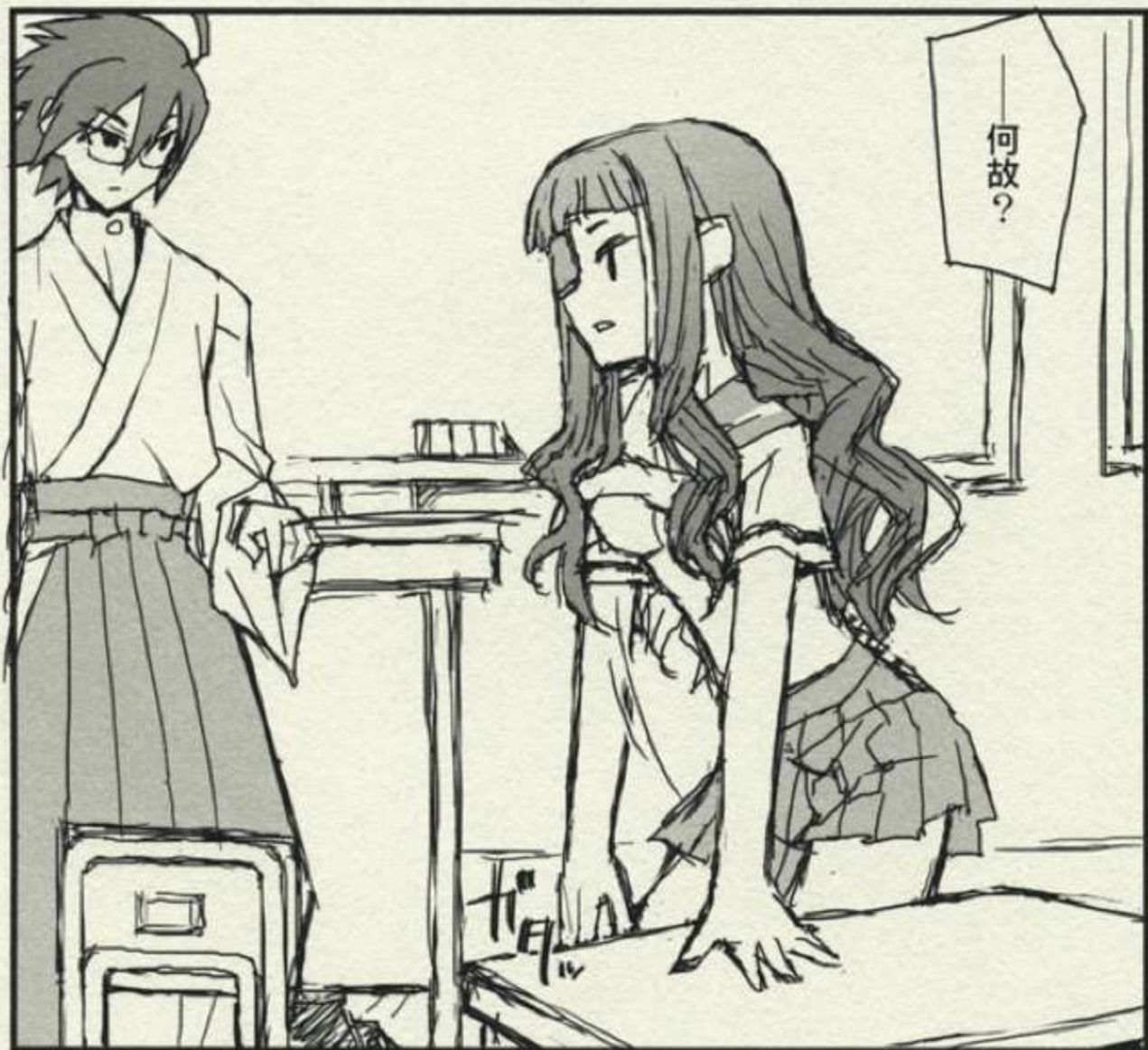
許してくださるのなら  
好きにして頂いて  
よろしいですよ



お兄様  
これでどうですか？

お前は本当に  
厭らしい娘ですね

オマエが云うな



何故？

……もう、充分ですよ

これ以上は止めましょう



ならば、私の  
躰からだに訊きいて下さいまし

あの頃と何一つ  
変わっておりませぬゆえ



以前あれほど  
愛欲を貪りあつた  
仲ではないですか

今更何を躊躇ためらうのですか？



過去の事は  
全て忘れました！

それこそが何より許し難い  
私たちの罪なのですから――



躰からだにつて！

オマエは本当に絶倫で  
満足するまで  
一晩中開放して  
くれなかつた  
じゃないですか！



ふふ

忘れたとおっしゃる割に  
思い出すのは早かつたようですね

しまっ

し







それ、ではっ

あっ

やあっ

這入ってっ  
きてるっ♡



あ♡

お兄様のが  
欲しい……です



さっ、どうして  
欲しいのですか？



ろくに前戯もなく  
こんなに滑らかなんて

はしたない子  
ですわっ

だあって  
おに……さまの  
ひざしがりっ

だからっ



ぜんぶ  
呑み込みましたね……  
じゃあ動きますよ



っあ♡

お兄さまあ

んっ





倫  
愛していますよ

は……あッ♡  
もう、だめえッ♡

え？  
お兄さま  
今何で……ッ

あッ

ちぎッ♡  
中々♡

はー♡

お兄さまの  
熱いのが……ッ♡

んっ  
トッ

ふっ♡  
♡……♡

は……あ  
お兄さまあ♡  
あッ

んっ  
んっ



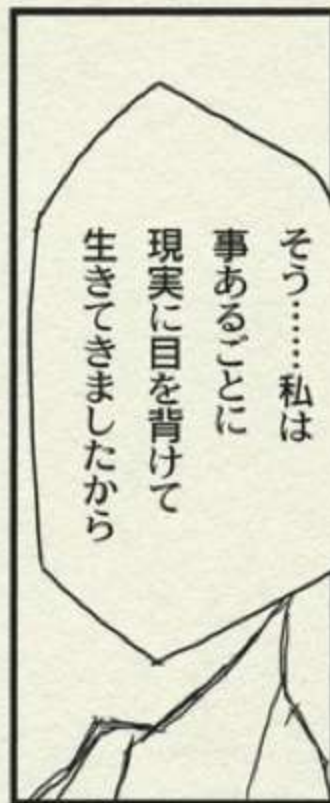
困ったひとですね  
お兄様は

初めて結ばれた  
あの時と違って  
もう子を孕めますのに



それで家を出たのですか

ええ



そう……私は  
事あるごとに  
現実を目を背けて  
生きてきましたから



お前は……

いえ、私は  
またあの時と同じ過ちを……



絶望したんです

私の、この弱さに



本当は首でも  
括ろつかと  
思っていたんですがね  
まさかオマエが  
追ってくるとは  
思いませんでした



ふふ  
そんなに容易く  
逃げおわせるんですか？

お父様も  
許すと仰ってますし  
そろそろ本家に  
お戻りになられては？

また父上は  
無責任に  
面白がつて……

でも私は戻りませんよ



いえ  
そう云う  
事では無く……

もう少し  
見ていたかった  
からかも知れません

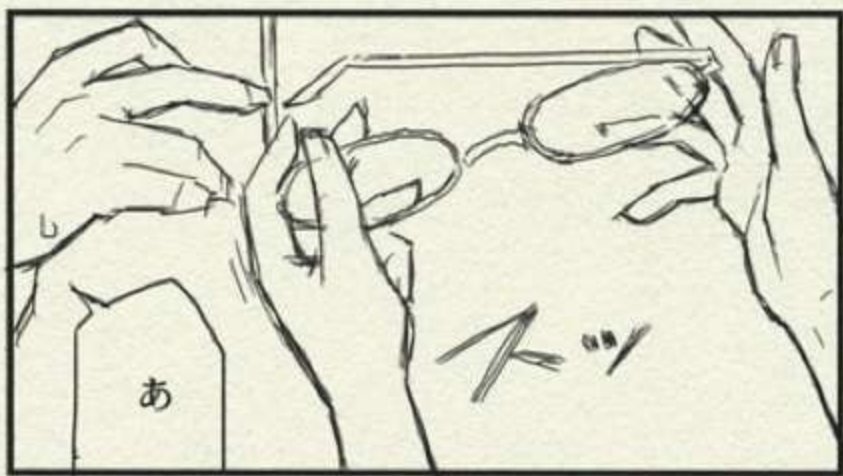
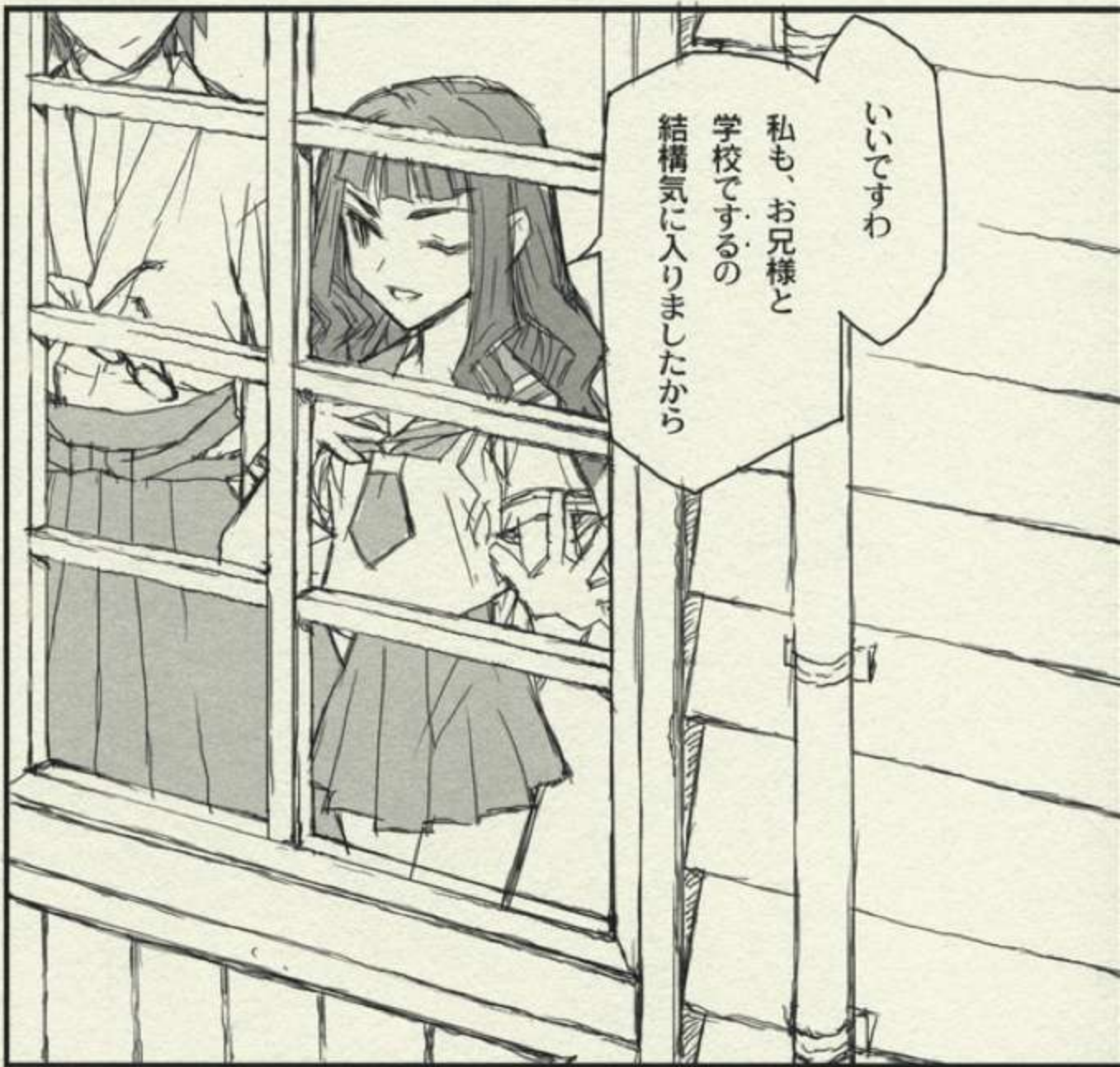


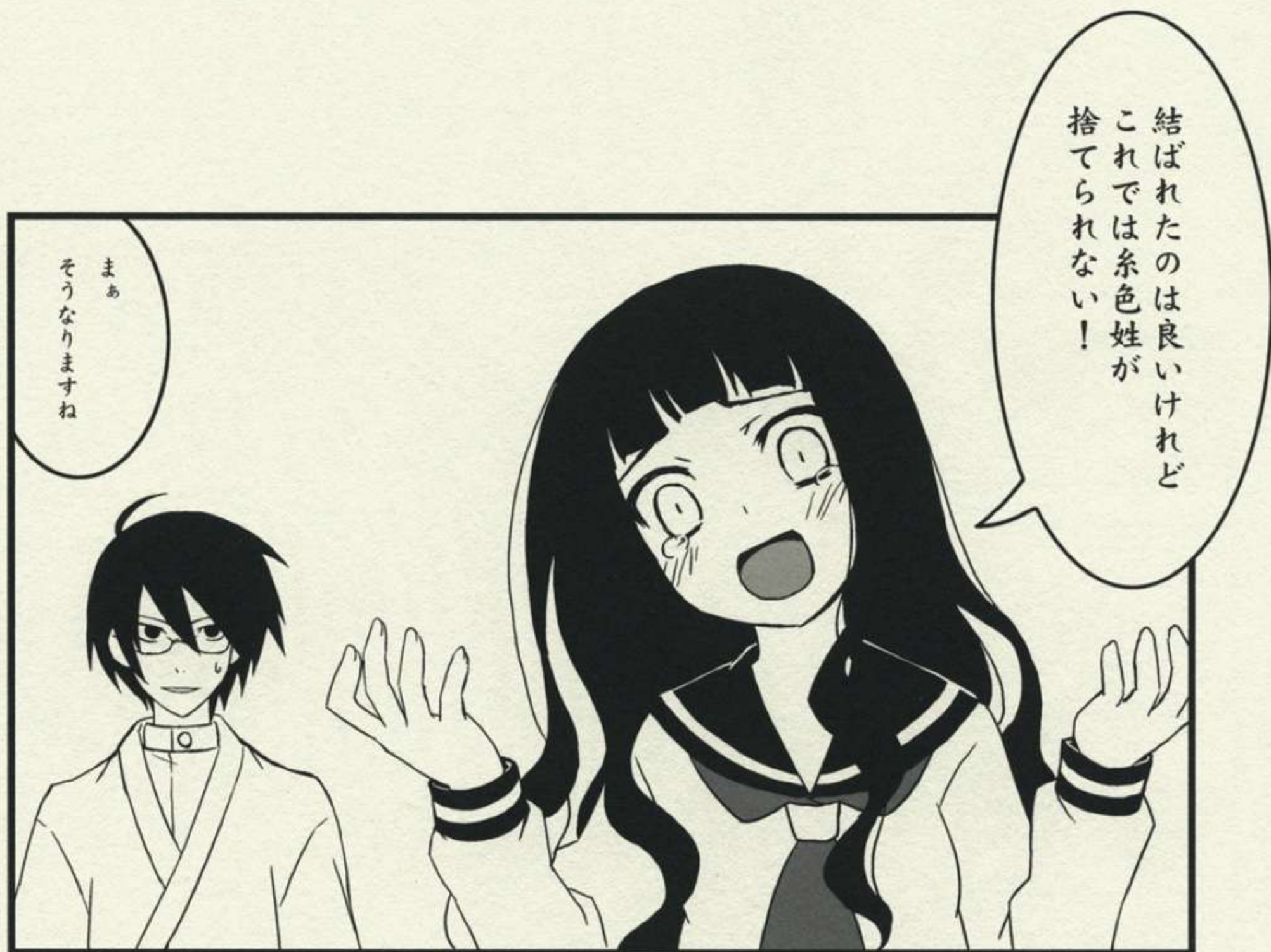
私でしたら別に  
お兄様の子を  
孕んだとしても  
一向に構いませんわよ？

何故ですか？



見たら  
何を？





結ばれたのは良いけれど  
これでは糸色姓が  
捨てられない！

まあ  
そうなりますね



# 801匹わんちやん大行進

浅木柚乃

……男性同士が  
当然のように愛の交歓を……

まったく非現実的ですね



こんなにもたくさんの  
BL関連商品が  
発売されているのに

ボーイズラブが  
非現実的なわけ  
ないじゃないですか!



いぬ七  
去げば  
棒がささります



美少年も歩けば  
棒がささります!

そのとおり!

ハッテン場限定なのでは  
ないですか!?



軍隊にはゲイが  
多いって言うじゃない  
ですか!

ガ●ダムやマ●ロス  
ではアリだと  
言いたいのですか貴女は



終



# 万物の声と痴人

浅水柚乃

語るわびさし

CV:一田さん

ないないない



なんたるチキソ

CV:糸色望

プリプリプリプリ

アリアリアリアリ!

アリアリアリア!

自慢に聞こえますよ!



美少女設定  
強めすぎましたか

終

# 絶望的あとがき

絶望した！締め切りを守れない自分に絶望した！  
と、毎度懲りない近衛です。ポロロツカ星の皆さん、お  
はこんばんちはなら。  
今回の後書は、合作表紙の生産者表示をしつつ、  
お送りします。表紙が合作で、比率的には半々にも  
関わらず、浅木さんはマクロスF本が忙しいとの事であ  
るんまり中は描いてくれませんでした。絶望した。  
え？人数キツチり半々じゃ割り切れないだろうって？  
おかしいな！確かに6人ずつ担当した筈なんですけど、  
いわれて見れば僕はもう1人描いたような？



ところで、探してみたら絶望先生の同人誌って、意外と少ないんですね。友人達に「今度の本は？」って訊かれて「絶望先生」って答えると、悉く「え……？本当に？」的な反応が返って来たのです！自分がマイノリティーだと気付いた！今！

僕の趣味趣向は永遠のマイノリティーなのですかね……。マイノリティー感漂うとはいえ「絶望先生」自体はメジャーな筈なのになあ。

ともかく、原作好きな方は、なんとなくニヤマリとして頂ければ幸いです。そうでない方は、良かったら原作読んでみてください。同人誌からのポロロッカなんて多くないとは思いますが、けれども！

あつ、逆に、僕の同人誌で原作にまで詰まらなそう印象を与えてしまってますか？すいません！すいません！

そうそう、今回の本は勝負を避けてデチューンしてあります。何処がって、先生の乳首にトーンを入れていないところですよ。脱いでないですけど。昨今規制が厳しいですからね。

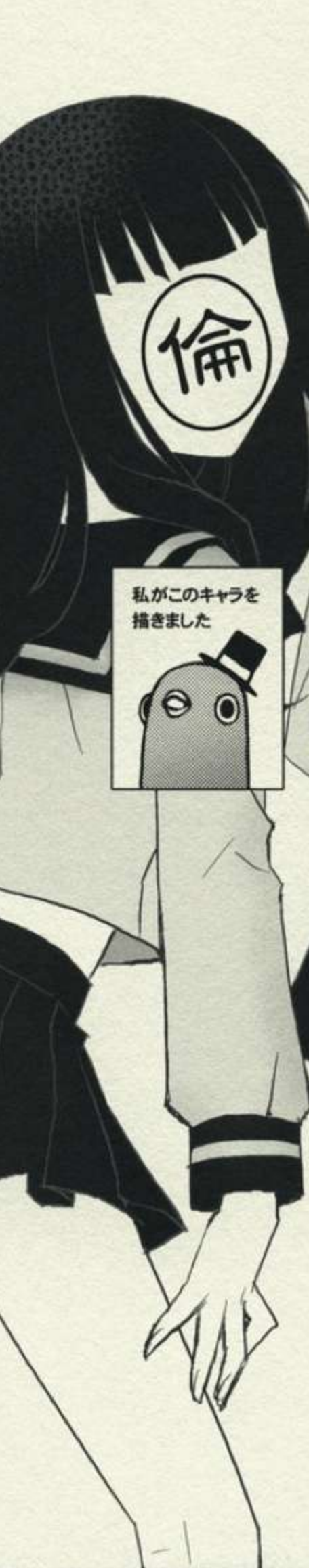
時に、一旧さんじゃないけど、旧家萌えなんですよ！広大な屋敷とか、古いしきたりとか、濃くなりすぎた血とか、色々デカダンな妄想広がりまくりです。好物なんです。「黒い十二人の絶望少女」でもそうだったけど、最期はやっぱりお屋敷が燃えるんだろうなあとか。

つまり、旧家燃えなんですよ！あ、なんだか上手い事言っちゃいましたかね？焼け太らねばならぬ。

倫様が学校に編入してきたのも、色々思うところがあつてじゃないかなというのが、今回の妄想話の取っ掛かりでした。あんまり深読みしすぎて、久米田先生は「まあ……」としか仰られないんでしょうけれども(苦笑)

ほんと、十見様くらいでも、よく分からなそうな後書になつてしまった事をお詫びしますん☆

昭和八十四年八月某日 近衛乙嗣F



凡例

私がこのキャラを描きました 	私がこのキャラを描きました 
近衛担当	浅木担当



## 我絶望入、故ニ我在リ

Ototsugu Konoe and Yuzuno Asaki Presents  
CLOSET CHILD Produced #50  
Sayonara zetsubou sensei fanbook

first edition : 2008.08.17

publisher : Ototsugu Konoe

published by CLOSET CHILD

printed by Kanazawa Print inc.

e-mail : [konoe@closetchild.net](mailto:konoe@closetchild.net)

<http://www.closetchild.net>

All rights reserved.

No part of this book may be reproduced  
without the written permission of the publishers.

クローゼットチャイルド 昭和八十三年

